



R8年11月度定例会：大浜てらまち巡り

R8年11月10日（火）　8：20　～　15：00

☆行　程　名鉄鳴海駅(8:20) ～ 碧南 ～ 大浜てらまち巡り ～ ランチ ～ 帰途

西方寺 ➡ 宝珠寺 ➡ 海徳寺 ➡ 清浄院 ➡ 本伝寺 ➡ 称名寺 （参加20名）

歴史情緒と醸造文化が息づく碧南市「大浜てらまち」を巡りました。ガイドボランティアさんの丁寧な解説のおかげで、単に見て回るだけでは気づけない「貴重な仏像・建造物の歴史」や「徳川家との縁」「地域に根付く信仰と時代の変遷」深く知ることができたように思います。

★九重みりんと鳴海千代倉家

九重みりん大蔵は、「江戸時代初期に鳴海の千代倉家が建てた酒蔵が、江戸中期に大浜の九重みりんへ移築譲渡され、240年の時を経た現在も使用され続けています。鳴海の醸造・建築文化が、大浜のみりん醸造文化へと引き継がれた象徴的な遺構と言えます。






歴史情緒あふれる:「大浜てらまち巡り」

★西方寺：本堂の荘厳な雰囲気に圧倒されました。明治の宗教哲学者・清沢満之所縁の地であり、明治の廃仏毀釈令の混沌としたなか、境内にある二層構造の「太鼓堂」が大浜小学校の前身校舎として使われ、近代教育の礎となった説明には時代の変遷を感じました。

★宝珠寺：家康の重臣として活躍した永井直勝の生誕地であり、その子孫に三島由紀夫や永井荷風ら文豪や狂言師の野村万作・萬斎が連なるという家系図の話には盛り上がりました。また、貼り薬「トクホン」の由来とされる医聖・永田徳本を祀る「徳本稲荷」など、身近な豆知識にも触れられました。

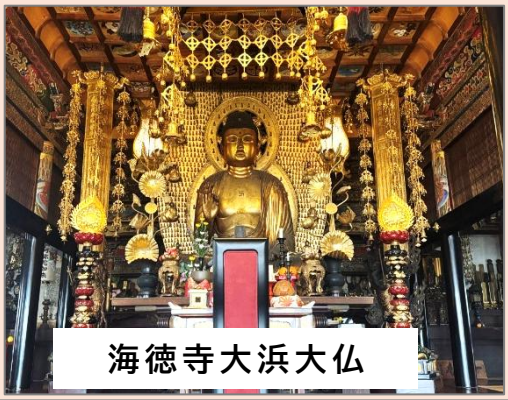
★海徳寺：明治の廃仏毀釈の際、伊勢の神宮寺から海を渡ってこの地へ救い出されたという「大浜大仏（阿弥陀如来坐像）」の由来や背景を聴き、時代と大浜の人々の深いドラマに思いを馳せました。
本堂内の格天井画や丈六の大仏（重要文化財）の荘厳さ、同じく海を渡ってきた多くの仏像に魅せられます。

大浜は明治時代以降も、古い建物や区割りが大きく壊されずに残されたため、密集した寺町としての景観がそのまま現代に受け継がれています。









海徳寺大浜大仏

郷土の歴史を楽しむ会



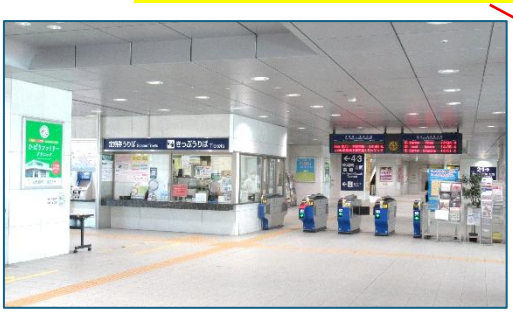
R8年11月度定例会 ： 大浜てらまち巡り（碧南市）

令和８年11月度の活動を企画しました。気軽にご参加ください。

“輪（わ）・和（わ）・笑（わ）”を大切に、楽しい同好会にしていきたいものです…

☆日　　時 ： 令和８年11月10日（火）　8：20～14：30

☆集　　合 ： **名鉄鳴海駅西改札口前付近　8:20**





☆行　　程： 名鉄鳴海駅急行豊川稲荷行　8：41発　➡　知立駅8：55着（乗り換え）
名鉄三河線碧南行　9：01発　➡　碧南着9：37　➡　徒歩移動
10：00　大浜まちかどサロン・ガイドボランティアさんと合流

散策予定　　西方寺山門前スタート　10：00　～　終了11：45
西方寺　➡（大浜中区稲荷社）➡　清浄院　➡　本伝寺　➡　称名寺　➡　宝珠寺　➡　海徳寺

※ 費　　用 ： 資料代　200円　　ランチ（オプション） ： 「うお鉄　碧南本店」

・ 参加入力締め切り　：　R8年11月3日（予約人数確定のため）





